

八千代市教育委員会会議録
平成30年9月第6回定例教育委員会

1 日 時 平成30年9月19日(水)
開 会 午後1時30分
閉 会 午後1時57分

2 場 所 教育委員会庁舎大会議室

3 出 席 者

教 育 長	加 賀 谷 孝
委 員	石 井 伸 一
委 員	須 堯 福 美
委 員	佐 藤 志 津
委 員	川 嶋 一 永

(説明員)

教 育 次 長	大 澤 紀 子
教 育 総 務 課 長	西 本 公 威
学 務 課 長	吉 村 昌 彦
指 導 課 長	嶺 岸 秀 一
保 健 体 育 課 長	設 楽 憲 一
教 育 総 務 課 主 幹	森 竜 哉
学 務 課 主 幹	兒 玉 健 司
指 導 課 主 幹	越 川 多 佳 美
郷 土 博 物 館 長	清 藤 一 順
少 年 自 然 の 家 所 長	村 上 恒 和
教 育 セ ン タ ー 所 長	丸 田 峰 登
適 応 支 援 セ ン タ ー 所 長	稲 毛 英 三
青 少 年 セ ン タ ー 所 長	片 波 見 昌 浩
学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	松 井 達 彦

(書記)

教育総務課主査 足谷素子
教育総務課主任主事 前田のぞみ

4 開 会

○加賀谷教育長 ただいまから、定例教育委員会を開会いたします。八千代市教育委員会会議規則第20条の2の規定により、議事の進行を行う委員の指名を行います。教育長において、石井委員を指名いたします。石井委員、よろしくお願ひいたします。

5 会議録署名人の指定

○石井委員 それでは、会議録署名人の指定を行います。加賀谷教育長のほかに、佐藤委員にお願いしたいと思います。

○佐藤委員 はい。

6 前回会議録の承認

○石井委員 平成30年8月第5回定例教育委員会会議録の承認について、質問がございましたらお願いいたします。

<質問なし>

○石井委員 では、お諮りいたします。平成30年8月第5回定例教育委員会会議録を承認することに、ご異議ございませんか。

<異議なし>

○石井委員 ご異議なしと認め、平成30年8月第5回定例教育委員会会議録は承認されました。続いて、平成30年8月第2回臨時教育委員会会議録の承認について、質問がございましたらお願いいたします。

<質問なし>

○石井委員 では、お諮りいたします。平成30年8月第2回臨時教育委員会会議録を承認することに、ご異議ございませんか。

<異議なし>

○石井委員 ご異議なしと認め、平成30年8月第2回臨時教育委員会会議録は承認されました。続いて、教育長報告をお願いいたします。

7 教育長の報告

○加賀谷教育長 定例教育委員会教育長報告は、3項目ございます。

はじめに、第5回八千代教育サミットについてご報告いたします。

8月20日、八千代市市民会館において、第5回八千代教育サミットを開催いたしました。このサミットは、「教育を核とした地域社会の構築」を図ることを目的として、平成26年度から実施しております。

今年度は「英語教育の必要性と系統的指導について」をテーマに、市内の公立小中学校、県立高等学校、私立中学・高等学校、県立八千代特別支援学校、それぞれの学校の校長、そして、市内にある大学2校の関係者が一堂に会して、グループ協議の中で熱のこもった議論を展開いたしました。

今後、更に連携を深められるよう内容の充実を図ってまいります。

次に、第32回学校スケッチ展についてご報告いたします。

「児童・生徒の豊かな情操を養い、図工・美術教育の充実を図る」ことを目的として、第32回学校スケッチ展を8月18日・19日の2日間、オーエンス八千代市民ギャラリーにおいて開催いたしました。

今年は小学生、中学生を合わせて1,235点の優れた作品が出品されました。2日間の期間中、4,267名の参観者がありました。

最後に、平成30年度八千代市科学作品展についてご報告いたします。

9月15日・16日に市民体育館を会場に、平成30年度八千代市科学作品展を開催いたしました。

教育サミットに参加している各学校の生徒や学生、先生、そして、関係機関や協賛団体による科学実験体験コーナーや科学実験ショーが多数開催され、来場者は、科学の楽しさを実感することができました。2日間の来場者数は、1,888名でした。

なお、優秀作品19点を八千代市代表作品として、県の科学作品展に出品いたします。

以上で、報告を終わります。

<質疑・応答>

○川嶋委員 感想です。教育サミットについてです。千葉県教育庁葛南教育事務所長がお話されていましたが、市内の学校、私立、大学が全部そろうのは全国でも八千代市だけではないかということでした。せつかく八千代市独自のサミットという形でやっているの、内容もかなり充実していますし、もっとPRして、皆に知ってもらうことも良いことだと思います。

一つのグループの中で、秀明大学の先生が英会話は非常に大事だとお話されてきました。大人になってたまたま商談の時に浮世絵の話が出たそうで、商談された方も浮世絵を詳しく知っていて商談が成立したそうです。英会話と日本の文化を交えた教育について話をされていたのが非常に印象に残っています。皆さんとても充実した内容をお話されていたので、八千代市内だけではなく、広く皆さんに知ってもらうのも良いと思いました。

○須堯委員 感想です。科学作品展の初日に参加させていただきました。今回は雨だったので、来場者が少ないかと思ったのですが、それなりに来てくださって、一生懸命見ている方にスタッフが付き添って「動かしてみましようか」と声を掛けていました。いろいろな学年のものを見させていただきました。協賛くださる所も年々すばらしくて、南極越冬隊員だった方の所では、服を着る体験ができるということで、とても良いことだと思います。体験された方に聞いた話によりますと、はがきを書いたらそれを南極まで持って行ってスタンプを押して送ってくださるそうで、そのような企画があったのなら是非してみたかったと思いました。

私は昔ながらの万華鏡を作らせていただきました。子どもの頃、この不思議な美しい模様は何でできるのだろうと思っていて、久しぶりに作らせていただきました。昔ながらの秘密みたいなものを、この歳になっても懐かしく、嬉しく、良い経験をさせていただきました。良い科学作品展でした。ありがとうございました。

○石井委員 教育サミットについて質問です。5回が終わりました、出席する先生が変わっても、毎年良い雰囲気で行われていると思います。10回目

までに何か青写真があれば教えていただきたいと思います。

○指導課長 教育サミットが終わった後、反省を含めて教育長と担当と話をする場面が何回かありました。その中で、5回が終わってテーマの見直しはもちろんですけれども、変化を入れながら続けていく、同じものを続けていくことについては、限界を感じていこうと考えています。方向性としましては、何か変化をさせていく中で、今後6回目、7回目、10回目を迎えていこうということです。具体的な案については今後研究を重ねていきますが、方向性の一つとしては、現在、タイの親善大使等をやっておりますし、韓国等の派遣もやっております。また、本市ではコミュニティ・ワールドサッカーを開催していることを発展させるなど、海外の方々とICTを活用したテレビ回線を含めてやっていけるのではないかと協議しております。そういった部分について、今回の外国語教育というテーマを継続させつつ、少し世界に目を向けた形で発展させていこうということも出ております。

○石井委員 ありがとうございます。楽しみにしています。よろしく願います。

8 その他

○学務課長 第2回学校適正配置検討委員会についてご報告いたします。

8月21日、委員16名中12名の出席により、第2回八千代市学校適正配置検討委員会を開催いたしました。本委員会では、昨年度、成田市立下総みどり学園、今年度、市川市立塩浜学園をそれぞれ視察しました。

今回は両校を参観したことを基に、義務教育学校の効果と留意点について協議いたしました。義務教育学校の効果としましては、「9か年を見通したカリキュラムの実践が可能であること」、「異学年との多様な交流を通して、思いやり・リーダー性・コミュニケーション能力等の育成が図れること」等が確認されました。課題としましては、「統合準備委員会等で基本的な考え方を整理しておく必要があること」、「教職員がしっかり共通理解を図っておく必要があること」等の意見が出されました。

以上でございます。

○教育センター所長 小中学校の教職員を対象といたしました夏季実技研修会についてご報告いたします。

教職員の資質の向上を図るため、7月26日と30日に夏季実技研修会(希

望研修)を実施いたしました。お配りした資料には、各講座の内容とアンケート結果、研修の様子を掲載しました。

どの講座においても、参加・体験型の研修としたため、先生方の発表や体験活動を多く見ることができました。延べ196名の教職員が参加しました。どの講座も研修生が意欲的に参加し、研修後に行ったアンケートでは、「とてもためになった」、「ためになった」と回答した割合は100%でした。また、「2学期からの指導に役立てたい」という回答を多く見ることもできました。

さらに、新しく導入したICT機器の学習での活用についての研修として、8月27日・28日に夏季実技研修会(悉皆研修)を行い、733名の教職員が参加しました。タブレットPCや電子黒板、実物投影機しつぱいの活用について、2学期以降どのように活用して授業を行うかを意欲的に考え、意見を交換する姿が見られました。

来年度以降も更に充実を図っていきたいと考えています。

続いて、初任者・若年教員研修実施状況についてご報告いたします。

初任者宿泊研修は、8月29日・30日に少年自然の家で行いました。

研修内容は、初日にプレゼン能力の育成として、勤務する中学校区の良さの紹介、レクリエーション研修として、キャンプファイヤー等、二日目は、若年教員研修Ⅰと合同のウォークラリー研修、普通救命講習などを行いました。まだ残暑の残る二日間でしたが、研修を自主的に運営しながら、研修に真摯に取り組む姿がありました。

次に、2年目を対象とした若年教員研修Ⅰと3年目を対象とした若年教員研修Ⅱです。どちらも8月中に3回の研修を実施いたしました。

若年教員研修Ⅰでは、ICT機器の活用研修、不祥事根絶研修、2学期に各自が行う授業検討会、里山体験研修などを実施しました。

若年教員研修Ⅱでは、情報教育研修、フレンド八千代の概要説明及び施設見学、東京成徳大学の中山先生のご指導による個に応じた支援の充実研修、2学期に各自が行う道徳の授業検討などを実施しました。

いずれの研修においても、活発な話し合いが展開されるなど、自らの力量を高めようという気持ちを感じる研修となりました。

今後も、有意義な研修の実施に努めてまいりたいと考えております。

○学校給食センター所長「Yacchi's Kitchen for Kids」についてご報告いたします。

「Yacchi's Kitchen for Kids」は、平成26年度から開催している小・中学生を対象とした食育講座でありまして、今年も夏休みを利用して、7月と8月に各1回開催しております。

1回目は、八千代高校家政科の生徒さん20名と秀明八千代高校のクッキングクラブに所属する生徒さん8名にご支援をいただき、7月25日に「高校生による小中学生のための食育講座」として開催しました。参加者は23名でした。

メニューは、高校生の皆さんが考案した八千代市産のブルーベリーを使った「ホットケーキ」と「コーンサラダ」、そして、「フルーツ牛乳寒天」でした。当日は、参加した児童生徒が協力し合って楽しそうに調理していく姿と、甲斐甲斐しく世話をする高校生の姿がとても印象的でした。

参加した児童生徒からは、「高校生のアドバイスが丁寧で料理をするのが楽しかった」、「料理を作ることも楽しかったし、友達もできて良かった」などの感想が寄せられており、高校生からは、「小中学生にわかりやすく伝えることが難しかったが、おいしくできて良かった」などの感想をいただいております。最後に、参加した児童生徒から講師である高校生にお礼状を渡したのですが、心のこもったお礼状に、高校生も感動していました。

2回目は、市内のカレー店に勤務されているインド人のシェフを講師に招き、外国の食生活や食文化に触れる機会とすること等を目的に、8月23日に24名の参加者を得て、「市内カレー屋さんの食育講座」として開催しました。

メニューは、スパイスがきいた「バターチキンカレー」と、八千代市産にんじんを使用したドレッシングを添えた「はるさめサラダ」でした。

シェフは各調理台を順に回りながら、デモンストレーションを交え、通訳の方を通して丁寧に説明をしてくださり、参加者である児童生徒は真剣に耳を傾け、熱心に聞き取りながら、協力して調理を進めていました。

会食後は、インドで数学の先生をされていた経験をお持ちの通訳の方が、インドでは各人が信仰する宗教によって食することができないものがあることや、比較的豆類を多く食べること等、インドの食事情についてお話くださいました。

参加した児童生徒からは、「今まで知らなかったことを知ることができ、したことのない経験ができて楽しかった」、「同じカレーなのに色や味が日本とこんなに違うんだなと思った。別の国のカレーも食べてみたいと思った」などの感想をいただきました。

最後に、参加した児童生徒から講師であるシェフにお礼状を渡したのですが、心のこもったお礼状にシェフも感動され、「自分の子どもたちのようでもとても可愛かった」とおっしゃっていました。

今後も、食育の推進を図るため、子どもたちが楽しみながら学べる機会として、「Yacchi's Kitchen for Kids」を続けてまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

○郷土博物館長 第2回企画展「絵図で知る八千代」の実績と第3回企画展「八千代の十王図から見た地獄」の開催についてご報告いたします。

はじめに、「絵図で知る八千代」は、郷土博物館で保管している村絵図の一部を展示し、かつての八千代市域の様子を知る機会といたしました。

会期は7月21日から9月9日までで、開館日数44日に対して会期中の利用者は2,666名でした。

次に、第3回企画展「八千代の十王図から見た地獄」についてですが、八千代市内の寺院に伝えられてきた十王図を紹介することで、市域の地獄・極楽などに関係した仏教の歴史や美術品などに興味を持っていただくものです。

なお、十王とは、亡者の生前の罪業を審判する10人の王のことです。

会期は10月7日から11月25日までで、色彩の退色を防ぐために一部資料の展示替えを11月2日に行います。

主な展示予定資料は、資料に記載されているように市の内外からお借りして展示させていただきます。展示の構成も資料のとおりで、地獄の思想、十王図と十王信仰の紹介、横芝光町に伝わる珍しい仏教劇「鬼来迎^{きらいごう}」に見られる地獄思想、そして、八千代の十王図から読み解くことができる地獄の紹介、などからなっています。

なお、関連事業として、講演会を11月4日の13時30分から、演題「閻魔さまからみる地獄と極楽」というテーマで、昭和女子大学の阿部美香先生にお願いするほか、担当者による展示解説会を3回、14時から30分程度行います。

以上です。

<質疑・応答>

○佐藤委員 第2回学校適正配置検討委員会について、課題として、基本的な考え方の理解が挙げられていたのですが、基本的な考え方とは具体的にどのようなものになりますか。

○学務課長 効果の方でもうたわれておりますけれども、9か年を見通して子どもたちを育てていく、その発想をきちんと共通理解していくことが必要だということが委員から意見として出ておりました。

○佐藤委員 ありがとうございます。もう一つ、夏季実技研修会についてなのですが、ICTの導入研修が行われたということなのですが、既に実用化されているということで、ほぼ全ての先生方が基本的な使用方法を理解されているということよろしいでしょうか。

○教育センター所長 8月27日・28日に行った夏季実技研修会では、学習での活用に絞りまして、教諭・講師・養護教諭の先生方を対象に電子黒板やコンピュータ室でのタブレットの使い方について研修し、私が何回か訪れた学校では既に使っている様子が見られます。また、問合せ等で聞きましても、かなりの率で教室で使っているというふうに伺っております。研修については、そのような形で生かされていると感じています。

○佐藤委員 授業の工夫等についてはこれからだと思っておりますが、大変期待しております。

○教育センター所長 ありがとうございます。

○須堯委員 人権擁護委員をやっております、人権教室ということで各小学校にお邪魔することがあります。先日は高津小学校で人権教室をやらせていただいたのですが、せっかく良い電子黒板があるからそれでやりたいと思っていたのですが、持って行ったDVDでは不可能だということで、校長先生が教育センターに使える機器を貸していただけるように交渉してくださったそうです。機器を各教室にお借りして大画面で授業をしましたところ、子どもたちの反応も大きかったです。ただ、各学校にそれを受け入れる機器がないということですが、教育センターに問い合わせている設置すれば、それがいろいろな形で利用できるということがわかり、良い効果が出たことを報告させていただきたいと思っております。

○教育センター所長 ありがとうございます。様々な要望が出ておりまして、それに対して教育センターでできることは対応していきたいと思っております。

9 閉 会

○加賀谷教育長 本日の定例教育委員会を閉会いたします。